



やすあき 岡村泰明県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

自民党県連総務会長に就任

県議5期目の半ばを過ぎ、自民党県連の総務会長に就任するなど、県政界で発言力を増す四街道市選出の岡村泰明(おかもら・やすあき)県議は、9月定例県議会の一一般質問に登壇し、30分間の質問を原稿なしに議場に語りかけました。

この中で、文教常任委員として学校現場でのいじめ問題を取り上げ、いじめの芽を事前に摘むための方策などを訴えました。また、岡村県議から自民党が以前から力を入れて取り組んできた重度心身障害者医療給付事業の現物給付については、自民党の代表質問に対し、森田知事が「今年度中に具体案をまとめ、平成27年度を目途に新制度に移行したい」と答弁し、現物給付の実現に向け、大きく前進する事になりました。

9月県議会一般質問に登壇



壇上からいじめ問題などの対応をたずねる岡村県議

早期にいじめの芽摘めと訴え!

年間3万件のいじめ報告

岡村議員 いじめの問題ですが、千葉県にはびっくりするほどいじめがあります。調査した5カ月半くらいの間に13772件のいじめがあったと報告されています。千葉市を含めて年間では3万件近いいじめが千葉県内で行われているのです。

これは何かしなければいけないということで、県教委もいろいろやっていますが、やはりいじめの芽を摘む、早期発見することが一番大事だろうと思います。いじめ防止の法律ができましたが、1番初めに、道徳教育をうたっています。2番目には早期発見だとしてい

ます。そこでいじめの芽を事前に摘む

むため、スクールカウンセラーやスクールサポーターなどの取り組みの充実を図るべきと思うかどうか。

瀧本教育長 いじめへの対応は、早期発見、早期対応が重要であることから、今年度、スクールカウンセラーを中学校、高等学校に加え、小学校10校に試行的に導入し、教育相談体制を充実させるとともに、定期的なアンケート調査と教員による個別面接など、いじめを見逃さないよう組織的に取り組んでいるところで

す。また、警察を退職された方からなるスクールサポーターについては、今年度4名増の28名を県警から派遣していただき、安全・安

学力向上へ上位県参考に

岡村議員 数年ぶりに全国学力・学習状況調査が行われましたが、その結果、またしても秋田県と福井県が1、2位を争う結果になりました。県教委としては、これを踏まえ、上位県との取り組みの違いをどのように認識しているのか。

瀧本教育長 県教委では、平成23年度から児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒向けの学習教材の作成と活用、読書や家庭学習環境づくりなどを柱とし

心な学校づくりを推進するとともに、いじめの未然防止にも努めているところで

す。岡村議員 いじめを早期発見するためには、警察官の眼力をもっと活用すべきと思うかどうか。

瀧本教育長 スクールサポーター派遣事業は、問題行動生徒への指導、校内巡視、登下校指導、いじめへの対応などの活動実績を重ねていただいております。今後とも、県警と連携し、各市町村教育委員会に対し、積極的な活用を促してまいります。

要望 早期発見のため、警察官の眼力を活用して、いじめへの対応をしていただきたい。

た「ちばっ子『学力向上』総合プラン」を推進しています。

このプランの中では、卓越した指導力を持つ教員を「魅力ある授業づくりの達人」と認定し、他の教員の授業力向上に活用する事業があります。この事業は、秋田県の取り組みを参考として導入したもので、基本的な取り組みの方向性については、上位県と大きな違いはないものと認識しています。

今後、調査結果の詳細な分析を進め、他県等の優れた取り組みも参考にしながら、本県児童生徒の基礎学力の向上に努めてまいります。

不祥事の現状と原因

岡村議員 教職員の不祥事で、東京都は200人の処分をしたと報道されました。千葉県も4万人もの教職員がいますが、子供たちへの影響を考えれば、不祥事はあつてはならないことです。懲戒処分の現状と原因をどう捉えているのか。

瀧本教育長 教職員の過去3カ年間の懲戒処分件数は、監督責任を除くと、平成22年度が17件、23年度15件、24年度17件で今年度は9月末現在で7件となっています。

不祥事の原因は、当該教職員の倫理観や人権意識の欠如だけでなく、不祥事に対する当事者意識の低さも大きな要因であると捉えています。不祥事は、学校教育への信頼を根底から揺るがすものであり、何としても根絶しなければならぬと考えております。

お知らせ 岡村泰明県議の一般質問は、県議会のホームページから「議会中継(録画)」で、すべてご覧になれます。

がん患者の就労対策を提起

羽田の騒音対策 北方面からの高度引上げ実現を!



メモを手に自席から再質問する岡村県議

岡村議員 がん対策についてですが、今年2月議会で千葉県がん対策条例ができました。また、3月にはがん対策審議会で2期目を迎えた推進計画が改定され、ようやく千葉県のがん対策の指針ができたと思っ

ています。千葉県では年間1万6千人もいます。これは大変な数字です。5月に東京で「がんサミット2013」というのがあり、私も参加してきました。9月にはがん患者の会が主催してがん患者の大集会が千葉の駅前で開催されました。ここでは、働き盛りの人

が本場に多い。県としてがん患者のために何かできることはないかと尋ねられました。がん患者の就労問題は、企業ががんに対してどう考えるかが問題になってきます。

そこで、がんになっても職場復帰できるように企業への働きかけを行うべきと考

えるが、今後、県としてどのような取り組みをするのか。保健医療担当部長 昨今、がん患者には労働可能であるにもかかわらず、解雇されたり、再就職できないといった問題が指摘されています。このことから、県では、本年3月に改定した「がん対策推進計画」において、新た

にがん患者の就労問題への対応に取り組むこととし、がん対策審議会の下に、千葉労働局の職員にも参画していただいている「就労支援部会」を設置しました。

子供たちにがん教育を

岡村議員 がんについての教育問題ですが、子供たち

がんに正しく理解すること、将来にわたって健康な生活を送るため、非常に大切だと考えています。

国は検討着手と回答

岡村議員 羽田空港の航空騒音の問題ですが、南方面からの高度引き上げが5千フィートから7千フィートへと実現したわけですが、これで万歳ではありません。佐倉、四街道からの北方ルートはまだ残っているのですから、何とか1日も早く高度引き上げを実現してもらいたいと思っ

ています。国は検討着手と回答



県立美術館の耐震工事を視察する岡村県議

保持増進と疾病の予防といった観点から、がんの予防を含めた健康教育に取り組んでいるところです。また、千葉県がん対策審議会の「がん教育部会」において、がんそのものやがん患者に対する正しい理解、さらには命の大切さなど、がんについての理解を深める新たな教材作りの検討を進めてまいります。

災害廃棄物への対応

環境生活部長 県では、産業廃棄物の処理施設については、民間事業者による整備が基本であると考えています。適正な処理や資源化が困難なもの、民間事業者では設置が困難な施設、また中小事業者のための施設については、行政が関与した整備

や運営も一つの選択肢だと考えております。 県としては今後、他の自治体の状況も参考にしながら、公的関与のあり方につ

● 県政や四街道市のご相談・ご要望をお気軽にお寄せください……

岡村やすあき 県事務所

〒284-0025 四街道市さちが丘1-15-2 TEL/FAX.043(423)0103